

ROVAL の耐用年数について

ROVAL を塗装した鋼構造物の耐用年数は下地処理や膜厚、腐食環境等に左右されるため一概に表現することは困難です。しかしながら一つの目安として ROVAL は ISO12944 C5-High に規定された技術要求事項に適合しています。これは、ROVAL が C5 腐食環境下で 15～25 年の耐用年数を期待できることを意味します。(C1～C4 の腐食環境の場合、25 年以上)

実際に C5 腐食環境の宮古島暴露試験場で暴露試験を実施しました。その結果、一般塗装(さび止め+上塗り)では 3 年で全面にさびが発生したのに対し、ROVAL は 15 年経ってもさびが発生しませんでした。

また一般環境における 20 年間さびなしの暴露試験結果もあります。

さらに様々な物件の経過観察記録もご紹介するのでご参考にしてください。

宮古島 15 年暴露試験結果 (腐食環境分類:C5)

ROVAL



(試験開始前)



(3 年後)



(5 年後)



(15 年後)

一般塗料

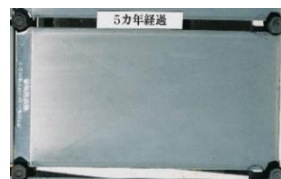


屋外暴露 20 年試験結果 (一般環境)

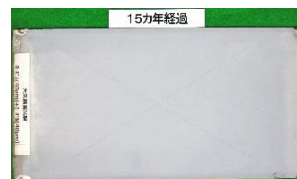
ROVAL



(試験開始前)



(5 年後)

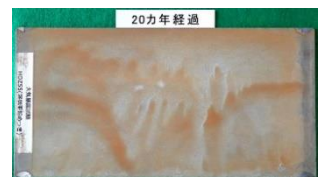
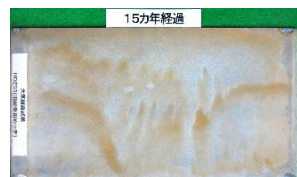
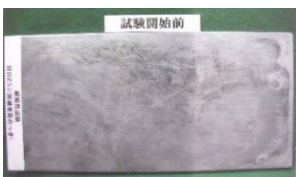


(15 年後)



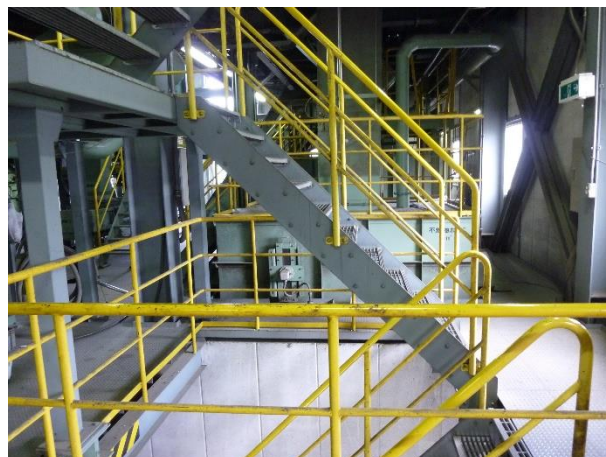
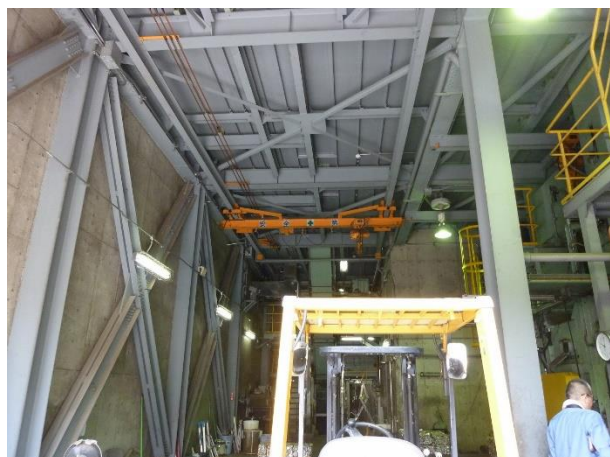
(20 年後)

溶融亜鉛めっき



リサイクルプラザ（新設塗装から 22 年経過）

廃棄物処理施設。施設内は酸性雰囲気気で鉄骨全面に ROVAL が塗装されている



照明鉄塔（リフレッシュ塗装から 20 年経過）

古くなった亜鉛めっき照明鉄塔に再めっき効果を与えるため EPO ROVAL が塗装されている



商業施設 外部階段（リフレッシュ塗装から 10 年経過）

古くなった亜鉛めっき製外部階段に再めっき効果を与えるため ROVAL が塗装されている



大学キャンパス 外部階段（一般塗装からの塗替え 9 年経過）

一般塗料で塗装されていた外部階段の旧塗膜を剥がし ROVAL にて塗替え



新交通臨海線 点検通路（リフレッシュ塗装から 6 年経過）

古くなった亜鉛めっき製点検通路の改修工事に ROVAL を使用



遮音壁（改修工事から 19 年経過）

橋梁の鋼板遮音壁の劣化がひどい箇所に ROVAL を塗装



駅ビル 空中連絡通路（リフレッシュ塗装から 14 年経過）

通路を囲う亜鉛めっき鉄骨に再めっき効果を与えるため ROVAL が塗装されている



線路 防音壁（新設塗装から 11 年経過）

眩しさ回避および防食性向上のため防音壁（スーパーダイマ）の上から ROVAL SILVER を塗装



落石防止柵（一般塗装からの塗替え 21 年経過）

一般塗料で塗装されていた落石防止柵の鉄骨を旧塗膜を剥がし ROVAL にて塗替え

